鳥獣被害防止総合支援事業及び鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業の評価報告(令和元年度報告)

達成<u>率 = 現状値</u> × 100 (%)

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度		事業内容	事業量	管理主体		和田史	単独事業の取り組み	事業効果	被害防止計画の目標と実績										
								利用率• 稼働率			被害金額(千円)				被害面積(a)				事業実施主体の評価	第三者の意見	
								10-1-0-1			対象鳥獣	現状値	目標値	実績値	達成率	現状値	目標値	741XIII	達成率	[率	
人吉市有害鳥獸会被害対策協議会		平成29 年度	イノシシ	業務用無線機	32台	4基 12回 5人年 1回 L=24,448m 225頭 1,238頭 25頭 63頭	平成30年1月16日	100%	・シカ捕獲奨励金1,000円 ×1,238頭 ・サル捕獲奨励金31,000円 ×25頭 ・カラス捕獲奨励金1,000円 ×109羽	・捕獲実績 平成29年度捕獲実績 シカ1,238頭、イノシシ225 頭、サル25頭、カラス109羽、アナ グマ63頭。 平成30年度捕獲実績 シカ1,307頭頭、カラス109羽、アナグマ57頭頭。 令和元年度捕獲実績 シカ1,460頭頭、カラス122羽、 テナグマ57頭頭。 令和元年度捕獲大力シシ219 頭、サル132頭、カラス122羽、 アナゲマ68頭。 ・狩猟免許取得助成による狩 州29:5人 H30:3人 R1:1人 ・捕獲技術向上研修会開催 による人材育成 H29:人 H30:30人 R1:25 人 ・防護柵設置によるイノシシ、 シカ被害の減少 ・鳥獣被害が減高の増 援活動による捕獲高の増	イノシシ	5,722	4,005	7284	-91.0%	589	412	508	45.8%	推進事業では、捕獲	
			サル	小型箱罠	4基		平成30年3月22日	100%			カラス	3,378	2,365	69	326.7%	33	23	12	210.0%	従事者の確保という	
				追い払い活動	12回						サル	566	396	914	-204.7%	98	69	114	-55.2%	観点から、狩猟免許 の取得奨励事業を	
				狩猟免許助成	5人年						シカ	8,565	5,996	5729	110.4%	4440	3108	442		行っており、3年間で	
			イノシシ シカ	捕獲技術向上研修会開催	10						アナグマ	1,159	811	189	278.7%	23	16	19	57.1%	9人取得された。その	
				電気柵設置	L=24,448m		平成29年11月1日	100%			合計	19,390	13,573	14,185	89.5%	5,183	3,628	1,095		中には若者もおり、実 施隊で活躍ている。	捕獲に関しては 後後事者の人材で
				有害鳥獣捕獲	225頭		平成29年6月16日												ľ	心体で心壁でいる。	
				有害鳥獣捕獲	1,238頭		平成29年6月16日														
				有害鳥獣捕獲	25頭		平成29年6月16日													センターカメラ・捕獲 管理発信機及び受信	
			アナグマ	有害鳥獣捕獲	63頭		平成29年6月16日													管理先信機及び受信 機等、実施隊及び自	
			カラス	有害鳥獣捕獲	109羽		平成29年6月16日													衛捕獲者に貸出すこ	の捕獲頭数の増
			イノシシ	くくりわな導入	70基	策協議会	平成30年11月13日	100%	% % % % % % % % % % % % % % % % % % %											とで、捕獲効率の向 上を図っている。人吉	
			シカ	捕獲管理発信機·受信機	2個		平成31年1月29日	100%												市鳥獣被害対策実施	
			サル	センターカメラ	11個		平成31年1月29日	100%												隊を対象に行ったわ	しかしサルに関
			カラス	追い払い活動	12回															な捕獲技術捕獲向上研修会では、専門家	
				狩猟免許助成	3人年															を招聘し、毎年約30	
		平成30		捕獲技術向上研修会開催	10		Ē													名の隊員が参加しそ	
		年度		電気柵設置	L=6,324m		平成30年10月5日	100%												の捕獲技術向上に努 めた。被害額や捕獲	
			イノシシ	有害鳥獣捕獲	180頭		平成30年6月15日				·									めた。被害額や捕獲 頭数の推移からもわ	
			シカ	有害鳥獣捕獲	1,307頭		平成30年6月15日													かるように、捕獲や威	おり、鳥獣被害対
			サル	有害鳥獣捕獲	14頭		平成30年6月15日				`									嚇としての設置で一 ウの効果を登ばてい	
			アナグマ	有害鳥獣捕獲	57頭	1	平成30年6月15日													定の効果を挙げてい る。	引き続き推進事
			カラス	有害鳥獣捕獲	109羽		平成30年6月15日														び整備事業によ
			イノシシ	くくりわな保定具チョン掛	18個		令和2年2月13日	100%												整備事業において は、3年間で34,000m	
			シカ	くくりわな保定具足錠	2個		令和2年1月29日	100%	・ジカ捕獲奨励金1,000円 ×1,460頭 ・サル捕獲奨励金31,000円											以上にわたり防護柵	ことを重む。
			サル	くくりわな保定具鼻くくり	2個		令和2年1月29日	100%												の整備を行い、防除	
			アナグマ	追い払い活動	12回															の最たるものとして、 導入地域を拡大して	(熊本県県南広地域 15 日本
			カラス	狩猟免許助成	1人年															等人地域を拡入して きた。設置した地区	□ 市球層地域振興 業普及・振興課
		令和元年		捕獲技術向上研修会開催	10															は、被害は明らかに	昭二)
		度		電気柵設置	L=4.087m		令和元年9月1日	100%												減少しているので、未	
			イノシシ	有害鳥獣捕獲	219頭		令和元年6月5日	. 50%												整備地域への整備を進めていく。	
			シカ	有害鳥獣捕獲	1.460頭		令和元年6月5日														
			サル	有害鳥獣捕獲	32頭		令和元年6月5日													今後は、自たちの耕作地は自分なれる空	
			アナグマ	17 11 11 11 11 11 11 11 11 11	68頭	1	令和元年6月5日	 							+	+		+		作地は自分たちで守 れるような研修会を	
			カラス	有害鳥獣捕獲	122羽	1	令和元年6月5日	-							-					行っていく。	

[|] カラス | 有害鳥獣捕獲 | 122羽 | 令和元年6月5日 | 注:被害金額及び被害面積の目標値欄については対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載する。